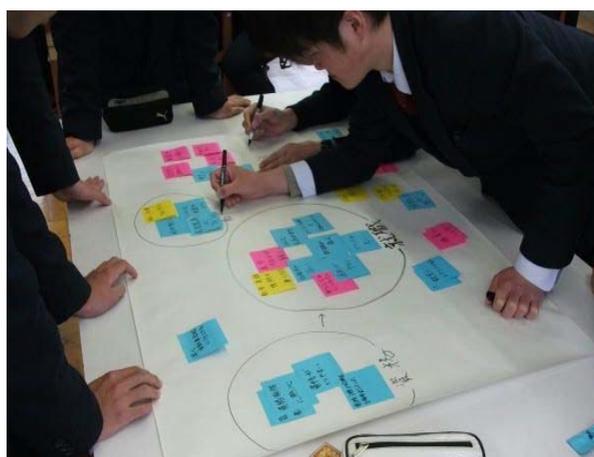


〇〇高校を紹介しよう

高校生にとって一日の大半を過ごす学校は、家庭と並んで重要な場である。そうした学校に、愛着や誇りをもつことは大切なことである。

学校には、それぞれ長い間に培われた独自の校風や伝統がある。生徒が自校を紹介するという試みを通して、学校の特色や魅力を再認識し、学校の一員としての自覚を高める。



KJ法による取組

1 対象と実施する時期

第1学年後半～第2学年前半

2 展開例（2時間）

(1) 1時間目

| | 学習活動 | 指導上の留意点 | 参考 |
|----|--|---|--|
| 導入 | 1 本時の活動を知る。 2 班編成と班長を決定する。 | ○本時の主題名（テーマ名）を板書し、意義や注意事項の説明を行う。 ○ブレインストーミング・KJ法の概要について説明し、理解させる。 ○仲のよい生徒だけで班を編成しないようにする。 | 〈ねらいの説明〉 （参考）参照 |
| 展開 | 1 思いつく意見を個々に付箋紙に書き込む。 2 付箋紙に書かれた意見を、班全員で模造紙に貼る。 3 各グループにタイトル（見出し）を付ける。 | ○付箋紙の色で「強み」、「弱み」、「どちらとも言えない」を区別させる。 ○まず、小さなグループにまとめ、次に大きなグループにまとめさせる。 ○関係が深いと思われるグループは近くに寄せる。 | タイトルの例 「学習」、「部活」、 「校風」、「伝統」、 「学校行事」など |

(2) 2時間目

| | 学習活動 | 指導上の留意点 | 参考 |
|----|---|--|-------|
| 展開 | 1 分類した付箋紙の関係について、話し合いながらマジックで線（関係）を記入する。 2 図解化（KJ法A型）したものを、文章化（KJ法B型）する。 | ○完成したところで付箋紙を糊などで固定させる。 ○始めは、全体として伝えたいこと、次に、個別の情報、最後に、特に詳しく伝えたいこととする。 | |
| 終結 | 各自で作成した文章を発表する。 | ○各班1～2名を指名し、発表させる。その際、模造紙も掲示させる。 | 〈まとめ〉 |

(参考)

ブレインストーミング (BS)

集団 (小グループ) によるアイデア発想法の一つで、会議の参加メンバー各自が自由にアイデアを出し合い、互いの発想の違いを利用して連想することによって、さらに多数のアイデアを生み出そうという集団思考法・発想法のこと。その背景には「本人にとってはつまらないアイデアに思えても、ほかの出席者には別の素晴らしいアイデアをひらめかせるかもしれない」という考えがあり、自由な発想でアイデアを生み出すことで、ほかのメンバーの頭脳に刺激を与えることをねらう。「頭脳に突撃すること」= **Brain Storming** として、このように呼ばれる。省略して、「ブレスト」、「BS」などともいう。

《 BSのルール 》

- 1 批判排除 (批判は行わない。)
BS中は、提出されたアイデアに対する批判や判断、意見等は言わない。
- 2 自由奔放 (奔放なアイデアを歓迎する。)
つまらないアイデア、乱暴なアイデア、見当違いなアイデアを歓迎する。
- 3 質より量 (アイデアの量を求める。)
アイデアは多いほどよい。
- 4 結合改善 (他人のアイデアを修正、改善、発展、結合する。)
出されたアイデアの改善案や組み合わせなども歓迎する。

典型的なBSは、5～10人程度の参加者 (ストーマーともいう) で行われ、その中でリーダー役が問題やテーマを提起し、記録係 (場合によっては記録専門) が出されたアイデアを記録していく。簡略化した形で通常の会議でも適用できるテクニックだが、意思決定や調整には役立たない。出されたアイデアは、BSとは別に整理・分析を行い、真に独創的なアイデアを抽出したり、問題点の洗い出しなどの作業を行ったりする。日本ではKJ法との組み合わせで使われることも多い。

KJ法

無秩序で雑然とした定性データ (事実、意見、アイデア) 群をいったんカードや付箋紙などに分解し、これを人間の直観力を用いて図解・文章に統合することで、意味や構造を読み取り、まとめていく方法および思想の体系。

漠然としてつかみどころのない問題を明確にしたり、思いもしない解決策・新しい発想を得たりするために用いられる。個人の思考と集団の思考をほとんど区別しないため、個人の発想技法としてだけでなく、複数の人間による共同作業、合意形成などにも使われる。

《 K J法のステップ 》

1 問題提起・テーマ決定

2 データ収集

- ・外部探検…取材、調査、観察、先行資料などによってデータを収集する。
- ・内部探検…内省、思い出し、BSなどによって個々人の頭の中にある知識や経験を取り出す。

3 ラベルづくり

得られたデータをラベル（カード、紙切れ、付箋紙、マグネットシートなど）に記入する。1枚のラベルには1つの事柄だけを具体的で簡潔な表現で文章化する（単位データ化）。

4 グループ編集

(1) ラベル広げ

机の上にラベルを順不同に広げて内容をよく読む。

(2) ラベル集め

ラベルを手に取り、印象として似ているもの同士を近くに寄せて小グループをつくる。似たものがないラベルは、無理にグループ化せず、それ1つでグループとして扱う。既存概念で分類するのではなく、直観で親近性のあるものを集める。

(3) タイトル付け

集まった小グループにタイトル（見出し）を付ける。ラベル群が示している内容にふさわしいタイトルを付ける。いわんとすることを具体的に表現する。タイトルラベルを一番上に置いて、小グループを束ねる。小グループの束を広げてタイトルの内容をよく読み、再び似たものを集めてグループ化を行う。小グループから中グループ、大グループへとグループ化を繰り返し、数個にまとまったらそれぞれに表札ラベルを付け、作業を終える。

5 A型・図解化

(1) 空間配置

グループ化されたラベルの束を机の上などに並べ、表札ラベルの内容をよく読み、グループ間の関係を見いだす。

(2) 図解化

ラベルの束同士を線をつないだり（相互、対立、原因・結果の関係などを表す）、囲んだりして図解する。大グループの図解を終えたら、中グループ、小グループの図解を行う。

6 B型・叙述化

(1) 文章化

ラベルの束、あるいは図解から文章を書き起こしていく。時間的な流れや前後関係に注目して展開や筋道を考えることで、図解の誤りを発見したり、新たな発想やヒントを得たりする。

(2) 口頭発表

文章に代えて口頭での発表を行い、議論を深める。

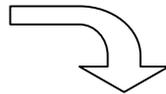
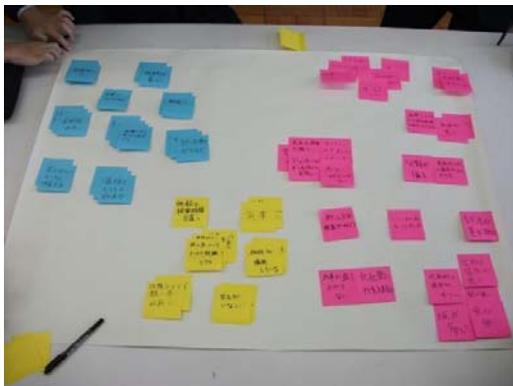
データ収集とラベルづくり



グループ編集 (1) ラベル広げ



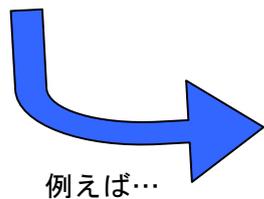
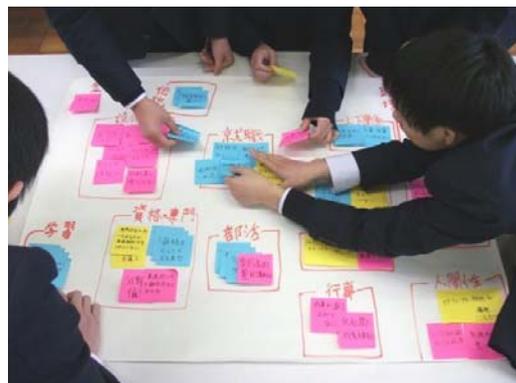
グループ編集 (2) ラベル集め



グループ編集 (3) タイトル付け

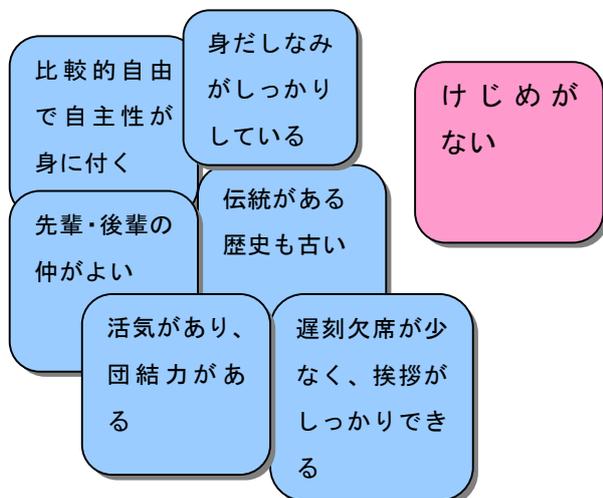


A型・図解化



例えば…

校風



●生徒の紹介文例

【中学生向け】

中学生のみなさん、こんにちは。〇〇工業高校です。〇〇工業高校には、機械・機械デザイン・電気・情報技術・・・の6つの学科があります。学校は〇〇市の中心部のやや南よりにあります。△△△△のすぐ近くです。工業高校ということで、卒業後は就職する人が多く、そのほとんどがこの地域の製造業に就職します。就職率は毎年ほとんど100%です。校則が厳しいことでも有名ですが、卒業後すぐ社会人になることを考えれば当たり前のことです。学校の雰囲気は、明るく活気があり、部活動も盛んです。バレーボールやハンドボール、陸上競技、弓道などが県大会の常連です。他にも各種競技大会、ボランティア活動、資格取得などに力を入れています。

中学生のみなさん、進路に迷っているなら、〇〇工業高校も考えてください。高校卒業後すぐ働きたい人、ものづくりの好きな人にはお勧めです。あと就職だけでなく、進学もできます。最後に、受験頑張ってください。

〈ねらいの説明例〉

皆さんが誰かから「あなたの通っている学校はどんな学校ですか？」と聞かれたら、どう答えるでしょうか。皆さんは、「母校」となるこの学校のことをどのくらい知っているでしょうか。

今日は、皆さんに「学校紹介」を考えてもらいます。自分たちの学校の魅力や優れている点、改善を要する点など、グループで話し合っ、て、創意工夫あふれる学校紹介をつくってみてください。

方法として、「ブレインストーミング」と「KJ法」という手法を組み合わせる方法を用います。班員から出される多種多様な意見を、協力して一つの文脈にまとめていきましょう。

〈まとめの例〉

本日の活動はどうだったでしょうか。同じ事柄についても、人によってさまざまな見方があることも理解できたと思います。自分の意見を主張するだけでなく、他者の意見を尊重し、お互いに協力することで、よりよい発想が生まれるものです。

日頃は特に意識することもないと思いますが、この学校の生徒であることは、皆さんの存在証明や存在意義ともいえます。また、卒業後は皆さんの「母校」になります。

今回の取組で、皆さんの学校に対する思いも深まったのではないのでしょうか。今までの先輩方が築いてきた伝統や校風、財産を受け継ぎ、皆さんの力で更によりよい学校にしてほしいと思います。

みんなで作る条例

社会にはさまざまなルールがあり、人はそれらのルールを守りながら、互いの権利や立場などを尊重して暮らしている。

ここでは、身近な地域で生じている問題を解決するため「条例」づくりを通して、よりよい地域社会の実現に向けて積極的に取り組もうとする意欲やルールを守ろうとする意識を高めさせる。



「みんなで作る条例」

Q 1 あなたの身近な地域で起きている問題点をあげてみましょう。

| |
|--|
| |
| |
| |

Q 2 その問題点を解決するために、どのような対策が必要だと思いますか。

| |
|--|
| |
| |
| |

Q 3 地域の問題点を解決するために必要だと思う「条例」を考えてみましょう。

(条例の名称)

| |
|--|
| |
|--|

(条例の目的と内容)

| |
|--|
| |
| |
| |
| |

Q 4 この学習を通して、社会のルールについて考えたことをまとめてみましょう。

| |
|--|
| |
| |
| |
| |

1 対象と実施する時期

全学年

2 展開例

| | 学習活動 | 指導上の留意点 | 参考 |
|----|---|---|----------------------------|
| 導入 | 活動の内容を知る。 | ○身近な地域で起きている問題をあげさせる。 | 〈ねらいの説明〉 ワークシートQ 1 |
| 展開 | 1 条例を作成する。 2 グループで発表する。 3 グループで1～2の条例にしばり、クラスで発表する。 | ○地域の問題を解決するための対策について考察させる。 ○5～6名のグループに分かれて、ワークシートのQ 2についてグループ内で互いに発表させる。 ○グループで話し合いながら、身近な地域に必要なだと思ふ条例を考えさせる。 ○話し合いの中で、グループとして新たな条例をつくってもよい。 | ワークシートQ 2 ワークシートQ 3 |
| 終結 | 授業を振り返る。 | ○本日の学習を振り返り、ルールについてどのように考えたかをまとめさせる。 | ワークシートQ 4 〈まとめ〉 |

3 留意事項

- (1) さまざまな視点から身近な問題を捉えるように留意させる。
- (2) グループでの話し合いがうまく進むように、教員がサポートする。
- (3) 同じ方法でクラスのルールをつくってもよい（「みんなで作る級則」）。

〈ねらいの説明例〉

多くの人々が暮らしている以上、どのような社会や地域にもさまざまな問題があります。そうした問題を解決するため方法の一つとして、人々はルールをつくり、そのルールを共に守りながら暮らしてきました。

今日は、私たちの身近な地域の問題について考えながら、その問題を解決するための「条例」づくりをしてみたいと思います。

〈まとめの例〉

ルールは与えられるものではなく、自分たちで作り上げていくものです。皆さんも、単にルールを守るだけでなく、その背景や意味をしっかりと考え、ルールが社会に浸透し、実現していくよう、社会の一員として協力してほしいと思います。

青少年の問題行動

近年、若者の規範意識が低下し、ルールやマナーを守れない青少年が増えていると言われている。

ここでは、身近な友達がルールを守れなかったときを想定し、自分の思いをどのように伝えるべきかを考えさせる。



Q 1 下の表にあるような青少年（18歳未満）の問題行動について

- (1) 絶対にすべきでないと強く思う順に5つ選び、番号に○を付けなさい。
- (2) (1)で選んだ5つについて、もしあなたの親友がそのような行動をしている、又はしようとしているとき、あなたはその親友に自分の思いをどのように伝えますか。その理由も含めてまとめなさい。

| | 項目 | 自分の思いをどのように伝えるか（理由も含めて） |
|----|-------------|-------------------------|
| 1 | 家出をする | |
| 2 | タバコを吸う | |
| 3 | 酒を飲む | |
| 4 | 賭け事をする | |
| 5 | 万引きをする | |
| 6 | 公共の物を壊す | |
| 7 | 人のものを取る | |
| 8 | 言葉で人をいじめる | |
| 9 | 暴力をふるう | |
| 10 | 学校をさぼる | |
| 11 | 嫌がらせのメールをする | |
| 12 | 薬物を使用する | |

Q 2 今回の授業を通して、青少年の問題行動に対する意識はどのように変わりましたか。

1 対象と実施する時期

全学年・1学期

2 展開例

| | 学習活動 | 指導上の留意点 | 参考 |
|----|--|--|-------------------|
| 導入 | 本時の活動を知る。 | ○導入として、青少年の問題行動の具体例を自由にあげさせる。 | 〈ねらいの説明〉 |
| 展開 | 1 絶対すべきでないと思う問題行動をあげる。 2 問題行動をしていた親友へのアドバイスを考える。 3 グループでロールプレイをする。 | ○問題行動のうち、絶対にすべきでないと思う順に、5つあげさせる。(5つの中で順位を付けさせてもよい。) ○親友がそのような行動をしていたとき、自分の思いをどのように伝えるのかを、その理由も含めてまとめさせる。 ○グループに分かれて、相手が問題行動をしていた場合に、どのように思いを伝えるのか実演させる。 ○ペアで実演させてもよい。 | ワークシートQ1 |
| 終結 | 授業を振り返る。 | ○問題行動に対する意識がどのように変化したかを考察させる。 | ワークシートQ2 〈まとめ〉 |

3 留意事項

グループで実演する際には、実際の場面を想定しながら自分の思いを伝えさせる。

〈ねらいの説明例〉

若者の規範意識が低下して、少年による犯罪も多発していると言われていま
す。今日は、青少年の問題行動について、皆さんの親友がそのような行動をと
っていたとき、自分の思いをどのように伝えるのか実演しながら考えてもらい
たいと思います。

〈まとめの例〉

今回は、青少年の問題行動について考えてもらいました。よくないとわかっ
ていても、よくないことの原因をまとめたり、それを人に伝えたりすることの
難しさを感じた人も多いことでしょう。

皆さんには、常に高い規範意識をもって生活してもらいたいと願います。そ
して、親友が問題行動をとっていたときに、自分の思いをきちんと伝えられる
人間になってほしいと思います。

赤ちゃんポスト

熊本市のある病院が「こうのとりのゆりかご」という名称で赤ちゃんポストを開設している。すでに80名もの幼い命を受け入れてきた。しかし一方で、このポストの在り方への議論が今も続いている。

ここでは、ポストで預かった赤ちゃんを育てている里親を取材した新聞記事を通して、命の尊厳、生きる意義について考えを深めさせる。



つないだ命 議論なお
「育ての親「今の社会に必要」」 **赤ちゃんポスト5年**

男の子がてくてくと元気に歩き回る。いま2歳。テレビの戦隊ものがお気に入りだ。棒を見つければ手にとり、剣に見立てて「エイッ」。そんな姿を、男の子を育てる夫婦は目を細めて見守っていた。

男の子は生後間もなく「ゆりかご」に預けられ、生後11カ月ごろ、この家に来た。夫婦は30代後半。妻は妊娠しても流産してしまう不育症に悩んでいた。養子縁組あっせん団体がこの子の親を募っているのを知り、引き取りたいと思って申し込んだ。

最初に乳児院で会った時は、まだころころした赤ちゃん。ひざにも乗ってくられず、手探りでふれ合いが続いた。乳児院に1カ月ほど通い、引き取った。初めての添い寝、夜泣き、家族旅行……。親子としての日々を重ね、男の子はかけがえのない息子になった。

ゆりかごに預けられたことは、最初に告げられた。実の母親に、子どもを育てられないやむにやまれぬ事情があったことも。驚きはあったが、「子どもには関係のないこと。受け入れよう」と決めた。

出産直後に預けたという切羽詰まった実の母の姿を想像すると、今でも胸が苦しくなるという。

妻は思う。「この子の命をつないでくれてありがとう。あなたが注ぐはずだった愛情は私たちが引き受けます」。

いずれは血のつながりがないことを告げなければならない。息子がどう思いか不安もよぎるが、ゆりかごに預けられたからこそ伝えられることもあると思う。命を助けるためにゆりかごができたこと、命を大事にしたいと思って実の母親が預けたこと。「ゆりかごは今の社会に必要。それを受け入れる社会であってほしい」。夫婦は願う。

「赤ちゃんポスト」

親が育てられない赤ちゃんを匿名で預けることができる窓口。熊本市の慈恵病院が2007年5月10日に開設した。昨年(※)9月末までに男児40人、女児41人の計81人が預けられ、うち64人は生後1カ月未満だった。障害のある子も8人いた。

市によると、81人のうち、特別養子縁組や里親委託で新たな家庭で生活しているのは37人。27人が施設に入所し、ほかは実の親らが育てるなどしている。

判明した親の居住地は、九州が26人、関東が18人、近畿、中部がそれぞれ8人となっている。(※2011年)

親不明 2割 1割に障害 匿名に賛否

匿名での預け入れは、子どもに保障されるべき出自を知る権利を奪うのでは——。開設当初から、そのような指摘はあった。昨年9月までに預けられた81人のうち67人の親が判明した一方、14人は親がわからないままだ。「何としても親を見つきたい」。預けられた子どもの保護に数年間かかわった元児童相談所職員は、残されたわずかな手がかりを頼りに、親を探した。子どもが実の親を知る道を閉ざしたくない一心だった。

熊本市の専門部会の報告では、仕事の都合や留学を理由に挙げるなど、親の身勝手さが指摘された事例もある。元職員は「匿名で捨てられる、と思って来る親もいる。赤ちゃんポストがあることで、家族から引き離されたとも言える」と負の側面を指摘。「預けられたうち約1割は障害のある子だったことにも目を向けてほしい」と訴える。

慈恵病院は親元がわからなくなる事態を避けようと、預け入れ前の相談を呼びかけている。赤ちゃんを受け入れる無人の窓口にも親宛ての手紙を置いて、名乗るよう訴えている。ただ、匿名での預け入れ自体は継続させる考えだ。

同病院の田尻由貴子看護部長は「出自を知る権利も大事だが、匿名でなければ遺棄されていたかもしれない事例もある。命を救うには匿名が必要。安易な預け入れに見えても、当事者は悩み続けている」と話す。(岡田将平)



ワークシート

「赤ちゃんポスト」

Q 1 この記事を読んであなたはどう思いましたか。

Q 2 あなたが里親なら、その子に出自を伝えますか。伝えるとしたら、いつどのように伝えますか。そのように判断する理由も書いてください。また、伝えない場合は、その理由も書いてください。

(理由)

Q 3 「赤ちゃんポスト」そのものについて賛否両方の意見があります。あなたは「赤ちゃんポスト」の存在についてどのように思いますか。理由も書いてください。

(理由)

Q 4 「赤ちゃんポスト」の是非や在り方について、グループで話し合ってみましょう。

1 対象と実施する時期

全学年

2 展開例

| | 学習活動 | 指導上の留意点 | 参考 |
|----|--|--|----------------------------|
| 導入 | 1 本時の活動を知る。 2 赤ちゃんポストの記事を読む。 | ○赤ちゃんポストに関する新聞記事を配付して読ませる。 ○記事を読んだ感想をまとめさせる。 | 〈ねらいの説明〉 資料 ワークシートQ1 |
| 展開 | 1 母親や里親の気持ちを考えながら、子どもに出自を伝えるかどうかを考える。 2 赤ちゃんポストの是非について考える。 3 赤ちゃんポストの是非や在り方について、グループで話し合う。 | ○実の母や里親の母の事情や心情について考察させる。 ○自分がそのように判断する理由を書かせるようにする。 ○自分と反対の意見であってもしっかり聞く姿勢を身に付けさせる。 ○赤ちゃんポストの是非や在り方についてグループごとに結論をまとめさせる。 | ワークシートQ2 ワークシートQ3 |
| 終結 | グループごとに発表する。 | ○グループで一つの結論が出ていない場合は、話し合いの経緯を簡単に発表させる。 | ワークシートQ4 〈まとめ〉 |

3 留意事項

- (1) グループの話し合いが進まない時は、教員がうまくサポートする。
- (2) グループ発表が終わった後で、再度「赤ちゃんポスト」についての自分の考えをまとめさせてもよい。

〈ねらいの説明例〉

熊本市のある病院が「このとりのゆりかご」という名称で赤ちゃんポストを開設しています。この5年間で、81名もの幼い命を受け入れてきましたが、赤ちゃんポストへの疑問の声も出ています。

今日は、ポストで預かった赤ちゃんを育てている里親に関する新聞記事を読んで、多様な視点から、赤ちゃんポストの是非やこれからの在り方について議論をしてもらいたいと思います。

〈まとめの例〉

今回は、赤ちゃんポストの是非や今後の在り方について多様な視点から考えてもらいました。これまでとは違った立場からも命の大切さを捉え直すことができたのではないかと思います。グループで話し合った結論が全てではありませんが、この学習を通して、命の尊厳ということについて、皆さん一人一人が改めて深く考えてもらいたいと思います。

〈関連事項〉 児童虐待、命の尊厳、子どもの権利

郷土の偉人 杉原千畝（すぎはらちうね）

第二次世界大戦中、リトアニアのカウナス領事館領事代理であった杉原千畝（現愛知県立瑞陵高等学校卒）は、ナチス・ドイツによる迫害を恐れてポーランドから逃れてきたユダヤ人の命を救うために、外務省の訓命に反して大量のビザを発給し、およそ六千人にのぼるユダヤ人の命を救った。当時の世界情勢や日本の状況を考えると、彼がとった行動は、相当な勇気があるものだった。

一人一人の命を大切に思い、人間としての道を全うした杉原千畝の行動を知り、人間の命の重みや信念を貫く勇気を考えさせる。



千畝の母校・愛知県立瑞陵高等学校に送られた平和のオリーブ植樹

杉原千畝氏参考資料

(資料1) 1934年、ドイツでは反ユダヤ主義を唱えるヒットラーが総統になる。翌年、再軍備宣言が出され、ドイツは第二次世界大戦への道を突き進んでいく。同年成立した「ニュルンベルク法」により、ユダヤ人は公職から追放され、市民権を剥奪される。

1938年、ナチス・ドイツはオーストリアを併合、ナチスの脅威が加速していく。同年、反ユダヤ主義暴動「水晶の夜事件」でユダヤ人の住宅や商店等が襲撃され、その後、ユダヤ人は、劇場や映画館等への立ち入り、学校への通学、夜間外出が禁止され、公の場から排除されていった。

1939年、ナチス・ドイツは強制的国家条約でリトアニアのメーメル地方を占領した。さらに、ポーランド不可侵条約を破棄し、9月に西、東ポーランドに侵攻した。ポーランド国内のユダヤ人は、ナチスによる迫害を恐れて国外への逃亡を図った。リトアニアへ押し寄せた多数のユダヤ人は各国大使館を訪ね、通過ビザを得ようとしていた。

○もしあなたがユダヤ人であったならば、どうしますか。

○もしあなたがドイツ人であったならば、ユダヤ人にどう接しますか。

(資料2) 1940年7月18日朝、大勢の人がカウナスの領事館前に押し寄せた。彼らはポーランドからナチスの手を逃れて来たユダヤ人で、日本の通過ビザを求めている。その数は、最初は200人程度だったが、数日のうちに何千人へと膨れあがっていった。彼らはナチスから逃れるために、晴雨を問わず幾日もかかって線路伝いに進み、ようやくカウナスへたどり着いたのである。千畝の妻である幸子は、当時の様子を次のように記述している。「人々は血走って、訴えるような目をしていました。今でもその目を忘れることはできません。」「数人のユダヤ人が私に向かって何か叫び始めました。なかには、祈るように手を合わせて私に差し出している姿もあります。数人の男たちが領事館の鉄柵を乗り越えようとしていました。しかし仲間に制され、少し小競り合いがあった後に、男たちは再び群れの中に戻っていきました。」(杉原幸子著「六千人の命のビザ(新版)」より引用)やがて、千畝は、ユダヤ人の中から5人の代表を選んで話を聞いた。彼らの望みは、日本通過の許可だった。千畝は日本政府に通過ビザ発給の許可を求める電報を打ったが、ドイツと協定を結んでいた日本政府は「否」と返答してきた。なんとか許可を求めようと電報を打ち返すが回答は「否」。苦悩の末、千畝は日本政府の命令に反してユダヤ人にビザの発給を決意する。この行為は、ナチス・ドイツへの敵対行為であり、日本政府の命令に違反するものであった。さらに、この年6月には、ソ連がリトアニアを侵略し、日本領事館には国外退去要請が何度も来ていた。

○もしあなたが千畝の立場であったなら、この難局にどう対処しましたか。

(資料3) カウナスの領事館には、大量のビザ用の用紙はなく、千畝は食事を食べる時間も惜しんで、ビザを一心に手で書き続けた。睡眠不足のために目は充血し、痩せて顔つきまで変わってしまったという。

1940年8月2日、日本外務省から領事館退去命令が来ていたが、千畝は7月29日から8月26日まで約1ヶ月、領事館の外で待つユダヤ人のためにビザを書き続けた。退去の日には、ビザを発給できなかったユダヤ人に詫びながら領事館を後にした。退去後、極度の疲労で長旅が無理なためホテルに移ったが、宿泊するホテル名を伝える貼り紙を領事館に残していたので、ユダヤ人がホテルにも訪れ、ビザ書き作業は続いた。

ついにカウナスを去り、ベルリンに向かう汽車を待つカウナス駅にもビザを求めるユダヤ人が来ていた。こうした中、千畝は汽車が走り出すまで、身を乗り出して許可証を書き続けた。最後に、千畝はユダヤ人に詫びながら、彼らの無事を祈った。

○汽車が駅を離れる時にも、許可証を書き続けた千畝をどう思いますか。

○ユダヤ人にビザを発給した千畝をあなたは(①ユダヤ人として、②日本外務省の職員として、③千畝の家族として)どう思いますか。

(資料4) 終戦後、千畝と家族は収容所に入れられた。収容所での生活と移動を繰り返して、ルーマニアのブカレストからソ連のウラジオストックまでを1年9ヶ月をかけて移動した。1947年日本に帰国すると、外務省からビザ発給の責任を問われ、退職を余儀なくされた。この年11月、三男が小児癌のため死亡。翌年11月には10年余りの海外生活を共にし、妻を支え、子どもの面倒を見てくれた義理の妹が死亡。戦後は食糧難にも苦しんだ。さらには、外務省の同僚から「杉原はユダヤ人に金をもらってやったのだから、金には困らない」という噂もたてられた。帰国後十数年間は、進駐軍東京PXのマネージャー、貿易会社、NHK国際局、ニコライ学院、科学技術庁等、職を転々として千畝にとっては厳しい時代だった。

(注) PX…進駐軍向けの商店

○子どもの死、外務省からの責任追及、食糧難など、苦しい状況が続いたとき、あなたならば、リトアニアでビザを発給したことをどう思うでしょうか。

○あなたが千畝なら、外務省に対してどんな思いをもちますか。

(資料5) 28年後、千畝はビザを発給して救ったユダヤ人と再会する。再会したユダヤ人は千畝の手を堅く握り、涙を流しながらお礼を述べた。彼は、ボロボロにすり切れた千畝が発給したビザを今も大切に持ち続けていた。千畝は自分のとった行動が正しかったことを確信する。その後も、救ったユダヤ人の家族や孫から、深い感謝のことばが千畝のもとに次々に伝えられた。

千畝は、その後、さまざまな国や団体から賞を贈られたが、感想を求められると、「あたりまえのことをしただけだ」と静かに答えた。

○千畝は、救ったユダヤ人と再会し、当時のビザ発給を振り返って、どう思っただろうか。

○約30年ぶりに自分の命を救ってくれた恩人に再会したとき、あなたはどのように気持ちを伝えたいですか。

(資料6)

杉原千畝氏受賞歴 参照：<http://www.chiunesugihara100.com/visa-thanks1.htm>

| 西暦 | 授与団体 | 賞の名称 |
|------|-------------------------------|--|
| 1969 | イスラエル政府宗教大臣 | 勲章 |
| 1985 | イスラエル政府 | 「諸国民の中の正義の人賞（ヤド・バシエム賞）」 イスラエルの丘での植樹祭と顕彰碑の除幕式 |
| 1989 | ADL財団(ユダヤ人援護団体) | 「勇気のある人賞」 |
| 1990 | ラウル・ウォーレンバーグ委員会(人権、人道を表彰する団体) | ラウル・ウォーレンバーグ賞(贈呈者ロス・ペロー氏) |
| 1991 | ミヤ・ヤシーバ大学 | ミヤ・ヤシーバ大学に杉原千畝スカラシップ設立 リトアニアに杉原千畝顕彰碑建立、杉原通り設置 |
| 1992 | ADL財団(ユダヤ人援護団体) 岐阜県八百津町 | 「勇気のある人賞」 「人道の丘公園」建設、杉原記念碑建立 |
| 1993 | ホロコースト博物館 | ホロコースト博物館に杉原千畝コーナー設置 |
| 1994 | 早稲田大学 日本政府 | 名誉賞 カウナス旧日本領事館に記念プレートを設置 |
| 1996 | ポーランド大統領 | 「Commandery Order of Merit」勲章 |
| 1998 | イスラエル政府 | 千畝を含む5人の外交官の顕彰切手「外交官・諸外国の正義の人々」切手が発行 |
| 2000 | 日本政府 岐阜県八百津町 | 「杉原千畝副領事がビザ発給」切手発行 杉原千畝記念館開館 |

1 対象と実施する時期

第1学年～第2学年

2 展開例

| | 学習活動 | 指導上の留意点 | 参考 |
|----|---|--|--|
| 導入 | 1 本時の活動のねらいを理解する。 2 時代背景を理解する。 3 3～4人のグループをつくる。 | ○ドキュメンタリー映画（NHK映像の世紀第4集DVD）や「シンドララーのリスト」等の映画のシーンを生徒に見せて時代背景を紹介してもよい。 | 〈ねらいの説明〉 資料1、欧州地図DVD、スクリーン、コンピュータ、液晶プロジェクタ |
| 展開 | 1 千畝の苦悩を追体験する。 2 資料をもとに、グループで話し合う。 ①ユダヤ人との交渉 ②日本政府との交渉 ③日本政府の命令に反したビザ発給 ④ユダヤ人との別れ ⑤帰国後の千畝 | ○迫り来るさまざまな状況の中で、自分ならばどうするかを考え、話し合わせる。 ○資料に掲載された質問について考えさせる。その際、以下の点に留意させる。 ・ユダヤ人を見捨てることは、彼らの死を意味する。 ・千畝は日本政府から認可を得られず、その命令に背いて多数のユダヤ人にビザを発給した。 ・全員に許可証を発行できないことを無念に思いつつカウナスを去る。 ・千畝は退職後、不遇であった。 | 資料1 資料2 資料3 資料4 |
| 終結 | ユダヤ人との再会やさまざまな受賞を知り、千畝の人生や人柄を考える。 | ○グループで話し合わせ、時間があれば発表させる。 | 資料5、資料6 〈まとめ〉 |

3 留意事項

- (1) 資料等を使い、ナチス・ドイツの政策、ユダヤ人の窮状、ソ連の圧力など当時の時代背景を丁寧に説明し、千畝の行動がいかに勇気のいる行動であったかを理解させる。また、日本政府の訓令に反してビザを発給したことにより、帰国後、千畝が不遇の時代を送ったことを生徒に理解させる。さらに、千畝が助けたユダヤ人と再会し、彼の行動が報われた時の喜びの大きさを想像させる。
- (2) 与える資料を最小限にとどめ、生徒に関連した資料を調べさせるのもよい。

〈ねらいの説明例〉

皆さんは、ホロコーストという言葉を知っていますか。ホロコーストとは、第二次世界大戦中、ナチス・ドイツが多数のユダヤ人を虐殺したことを指します。アウシュビッツという地名はどうでしょうか。アウシュビッツは、多数のユダヤ人が収容され、虐殺された強制収容所があった所です。皆さんの中には「アンネの日記」を読んだり、歴史の授業で学んだりして、ユダヤ人の虐殺についてある程度知っている人も多いと思います。

それでは、第二次世界大戦中、何人のユダヤ人が虐殺されたか知っていますか。皆さんが通っているこの学校には、約〇〇人の生徒がいます。皆さんが住んでいるこの町の人口は〇〇人です。ホロコーストで虐殺されたユダヤ人は、何と約六百万人です。このような恐ろしい狂気が吹き荒れる中、敢然とユダヤ人の命を救うことに身を捧げた一人の日本人がいました。今日は、その日本人の軌跡をたどってみましょう。

〈まとめの例〉

時代の流れや上司からの命令に逆らい、人として正しいことをやり抜くことは決して容易なことではありません。他の人の不幸な出来事や苦しい状況も、一瞬目をつぶれば、一瞬耳を塞げば、自分には危害が及ばず通り過ぎてしまうことがたくさんあります。逆に、関わったばかりに自分に危害や苦難が及ぶということも起こります。しかし、目をつぶり、耳を塞いだりしたために、他人の不幸は続き、時にはさらに悪い状況になってしまうこともあります。

今日、皆さんが追体験をした杉原千畝さんの生き方から何を感じ、何を学んだでしょうか。誰もが人として正しく生きよう、互いに助け合って生きようと思っています。私たちも自分の信念と正義に基づいた正しい行動がとれるよう努めたいと思います。

【参考図書】

「六千人の命のビザ」 杉原幸子著 大正出版

「杉原千畝ガイドブック」

(千畝ブリッジングプロジェクト)

※杉原千畝記念館において販売



人道の丘公園 シンボルモニュメント
(岐阜県加茂郡八百津町)

外国人から見たニッポン

日本とはどのような国だろうか、日本人とはどのような国民だろうか。外国人は自国や自国民と比較して、日本や日本人をどのように見ているのだろうか。

東日本大震災後に外国人が残した記述をもとに、日本や日本人の新たな側面を再発見、再評価させる。



龍安寺の蹲踞（つくばい）

外国人から見たニッポンのイメージ 資料

資料1 「日本語と外国語」 鈴木孝夫著 岩波新書

物の見方、考え方は一様ではなく、文化によって異なることを分らせるために、「太陽の色」や「虹の色の数」について尋ねる。

太陽の色 日本語、ロシア語：赤色

英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語：黄色

虹の色の数 日本語、フランス語：7色（赤橙黄緑青藍紫）、ロシア語：4～7色

英語：6色、ショナ語：3色、バサ語：2色

資料2 「ニッポンのイメージ—マスメディアの効果—」 川竹和夫著 NHKブックス

外国人が「日本」や「日本人」に対してどのようなイメージを抱いているのかを尋ねる。

○アメリカ人からの「日本」のイメージ

- ①テクノロジー ②工業力 ③自動車 ④人口過密 ⑤スシ
⑥日本料理 ⑦サムライ ⑧カメラ ⑨広島・長崎 ⑩芸術

○フランス人からの「日本」のイメージ

- ①テクノロジー ②工業力 ③経済力 ④人口過密 ⑤サムライ
⑥富士山 ⑦映画 ⑧伝統芸術 ⑨広島・長崎 ⑩コメ

○アメリカ人からの「日本人」のイメージ

- ①勤勉、仕事好き ②賢い、教養がある ③もの静か ④礼儀正しい
⑤小さい ⑥控え目な ⑦保守的 ⑧集団主義 ⑨教育程度が高い
⑩友好的

○フランス人からの「日本人」のイメージ

- ①勤勉、仕事好き ②小さい ③賢い、教養がある ④規律正しい
⑤カメラ好き ⑥いつも笑っている ⑦好奇心が強い ⑧礼儀正しい
⑨愛想がいい ⑩米食

資料3 【日本から学ぶ10のこと】

東日本大震災後、世界銀行や国際通貨基金のスタッフの間でこのメールがまわっていたそうです。

10 things to learn from Japan- 日本から学ぶ10のこと

1. THE CALM--Not a single visual of chest-beating or wild grief. Sorrow itself has been elevated.

静寂・・・そこには威勢よく騒ぐ人はなく、嘆きにくれ叫ぶ人の姿もない。ただ、悲しみの存在だけがこみあげている。

2. THE DIGNITY---Disciplined queues for water and groceries. Not a rough word or a crude gesture.

威厳・・・水と食料のための待ち行列は規律があり、そこでは荒い言葉をはいたり、粗雑な行動をとったりする人がいない。

3. THE ABILITY--- The incredible architects, for instance. Buildings swayed but didn't fall.

能力・・・信じがたいほどの能力ある建築家たち。ビルは揺れた。しかし崩れたビルはなかった。

4. THE GRACE----People bought only what they needed for the present, so everybody could get something.

品格・・・人々は自分たちが当面必要としたものだけを買った。だから、皆がそれぞれ何かを手に入れることができた。

5. THE ORDER----No looting in shops. No honking and no overtaking on the roads. Just understanding.

規律・・・店での略奪はなく、路上でも追い越しや叫ぶ者はいない。皆が理解を示している。

6. THE SACRIFICE----Fifty workers stayed back to pump sea water in the N-reactors. How will they ever be repaid?

犠牲・・・原子炉にポンプで海の水をかけるためにとどまった50人。彼らにこの恩をどう返せばよいのか？

7. THE TENDERNESS----Restaurants cut prices. An unguarded ATM is left alone. The strong cared for the weak.

やさしさ・・・レストランは値下げをし、警備のついていないATMはそこに放置されたままである。そして強い人は弱い人の世話をしている。

8. THE TRAINING----The old and the children, everyone knew exactly what to do. And they did just that.

訓練・・・老人、子供、皆はそれぞれ何をしたらよいのかきちんと知っており、そして、彼らは淡々とそれを行っている。

9. THE MEDIA----They showed magnificent restraint in the bulletins. No silly reporters. Only calm reportage.

メディア・・・報告する時に抑制し落ちついている。愚かなレポーターがいない。落ちついたルポが続いている。

10. THE CONSCIENCE---When the power went off in a store, people put things back on the shelves & left quietly.

良心・・・店で電源が切れた時に、レジに並んでいた人々は、物を棚に戻し、静かに店を去った。

Truly Inspirational --what is happening in the Land of the Rising Sun.

真のインスピレーションを与える・・・「日出づる国」で起こっていること

資料6 「世界が感嘆する日本人 海外メディアが報じた大震災後のニッポン」宝島社新書

①引用 p p. 18～19

全米で聞かれているラジオ局NPR (National Public Radio) で4月18日に放送された『All Things Considered』にて、名アンカーであるミッシェル・ノリスは被災地で3週間取材してきたジョン・バーネット記者にこう聞く。「壊滅した地域、町、流された所有物を抱えて、現地で取材した人々はどうだったのか。生き残った人はどうやって耐え抜いているのか」これに対して、世界中で災害を取材してきたバーネットはこう答える。「驚くべきことだ。日本人の“ガマン”という概念がある。それは *patience*、*endurance*、*perseverance* が合わさったものだ。愛する人、ビジネス、家など、何もかも失った人々を見ても、彼らは毅然として、快活にも見えた。でも、ほとんど仕切りのない高校の体育館などで一緒に暮らしている人々にとって、その気持ちも段々限界に来ていと言わざるを得ない。石巻という被災地では、137の建築中の仮設住宅に3145世帯が応募している。これだけでもどれだけの家が必要かわかるだろう。それでも人々はみんな驚くほど耐え抜いている。日本人は本当にこの“ガマン”という概念を体現している。」

②引用 p p. 22～23

『ワシントン・ポスト』のチコ・ハーラン記者は3月16日付で、『3重のカタストロフィが増える犠牲者に直撃する：尊厳、礼儀正しさ、強靭さを見せる』というタイトルの記事を書いている。

《日本はパラドックスの国であるが、第二次世界大戦後最大の危機を *decorum* (礼儀正しさ) で対処し、秩序をもってカオスと闘っているように見える。津波で破壊された大槌町の家の上にはフェリー・ボートが乗っかっているが、避難所では、靴は入口できちんと脱ぎ、ゴミもリサイクル用に分別されている。略奪や犯罪のレベルが上昇している証拠はひとつもなく、日本人は長蛇の列で待ちながら冷静さを示している。頑固なまでの礼儀正しさとグループのコンセンサスを重んじる心も示されている。ツイッター使用者は、足止めを食らった人や家がなくなった人がおにぎりを分け合っている話を発信している。車で北に向かう人は10時間車に乗ることになるが、クラクションを鳴らす人は誰もいない。》

③引用 p p. 38～42

女川町にある水産加工会社・佐藤水産では地震発生直後、同社専務の佐藤充さんがいち早く中国人研修生たちを避難させたため、研修生たちは全員無事だった。しかし、佐藤さん自身はその後、津波に飲み込まれてしまった。中国の国営通信社・新華社は3月16日、『大災来時有大愛 (大災害が来たとき、大きな愛があった)』との見出しで以下の記事を掲載した。この記事は全国各紙で転載されたほか、テレビ、ラジオでも盛んに紹介された。

《彼ら地元の人の助けがなかったら、私たちはこの世に存在していなかった》大連からの研修生、衣亜男さんたちは嗚咽しながら感謝の言葉を連ねる。

1 対象と実施する時期

第1学年

2 展開例

| | 学習活動 | 指導上の留意点 | 参考 |
|----|---|---|--|
| 導入 | <p>1 本時の活動のねらいを知る。</p> <p>2 日本文化と異文化の比較をする。 (例)・太陽の色を尋ねる。 ・虹の色の数を尋ねる。</p> | <p>○文化が異なれば、見方も異なることに気付かせる。</p> | <p>〈ねらいの説明〉</p> <p>資料1</p> |
| 展開 | <p>1 自分が考える「日本」と「日本人」のイメージを3つずつあげる。</p> <p>2 アメリカ人大学生とフランス人大学生から見た「日本」と「日本人」のイメージ上位10項目を確認する。</p> <p>3 東日本大震災時のビデオを視聴する。</p> <p>4 東日本大震災後、世界銀行や国際通貨基金のスタッフの間で回ったメールや外国での報道を読み、日本人の国民性について考える。</p> | <p>○自分が考える「日本」と「日本人」のイメージと、アメリカ人やフランス人が考えるイメージを比較させる。</p> <p>○外国人が抱くイメージから、日本と日本人がもつ新たな側面に気付かせる。</p> <p>○家族や財産を失った人々の、震災後の生活を想像させる。生活面や精神面での窮状とその対応の様子を想像させる。</p> <p>○NHKオンデマンドの特集番組を利用してもよい。</p> <p>○東日本大震災を通して、外国人の目から見た日本人の姿を読ませ、日本人がもっている国民性に気付かせる。</p> | <p>資料2</p> <p>ビデオ「NHKスペシャル映像記録 3. 11～あの日を忘れない～」</p> <p>資料3 資料4</p> |
| 終結 | <p>日常生活の中で見落としがちで、人としての美德を再確認する。</p> | <p>○外国人はなぜ日本人を褒めたたえているのか、外国における実情も考慮して考えさせる。</p> <p>○日本人の美德を日常生活の中に反映させる。</p> | <p>〈まとめ〉</p> |

3 留意事項

今回引用した資料には、日本人を過大に評価したと思われる部分もあるが、外国人の目を通して日本や日本人の特長を知ることが趣旨として活用する。また、外国人が褒めたたえている特長は、国境を越え、時代を超え、多くの人々に身に付けてもらいたいと期待している点も、生徒に気付かせたい。

〈ねらいの説明例〉

ドイツの文豪ゲーテは、「外国語を知らない人は、自国語についても無知である」と言いました。自分と異なるものと出会ったり、異なる視点に立ったりすることで、自分についてより深く知ることができるということです。そこで、今日は、外国人が日本や日本人をどのように見ているかを知ることにより、私たち自身をより深く見つめ直し、日本と日本人を再発見していきましょう。

〈まとめの例〉

東日本大震災では、多くの尊い命と家財が失われました。しかし、その苦難や悲しみの中で、被災地の人々は、終始沈着冷静に行動し、外国人を驚かせました。

日頃、私たちは、日本人は自分の意見をもたないとか、積極性に欠けるなどマイナス面を耳にしがちです。しかし、外国人の目から捉えた日本人はずいぶん違うようです。日本人には、外国人から称賛されるたくさんの美点があります。皆さんも、日本人の一人として、その美点をしっかりと身に付け、日本人であることの誇りを胸に、自信をもって国際舞台で活躍できる人になってほしいと思います。

【参考図書】

「日本語と外国語」 鈴木孝夫著 岩波新書

「世界が感嘆する日本人 海外メディアが報じた大震災後のニッポン」 宝島社新書

模擬国連

現代は、科学技術の発達や経済のグローバル化等により、自国が抱える問題が、当事国や周辺国だけではなく、世界中の国々に瞬時に影響を及ぼす時代になっている。また、国際問題の多くは、当事国だけで解決することが困難になっている。

ここでは、地球上の問題を、各国代表が集う国連の場でどのように解決していくかを模擬体験することにより、国際的な視野を養うとともに、他者の立場から考える態度や思いやり、共生の精神を培う。



資料

模擬国連の流れ

| 時 間 | 活 動 内 容 |
|------------|--|
| 事 前 準 備 | <p>(1) 地球規模の問題（テーマ）を新聞、インターネット等を活用して情報収集する。例「児童労働」「エイズ」「地球温暖化」「森林伐採」「飢餓」「貧困」等</p> <p>(2) 各テーマに関して、どのような問題が生じているかについて情報収集する。国連で話し合うため、どのような参加国を加えるかを検討する。</p> |
| 第 1 時 | <p>(1) 模擬国連で話し合うテーマを決める。</p> <p>(2) テーマに関する論点を絞り込む。大きなテーマであったり、抽象的なテーマであったりする場合には、論点を絞る必要がある。例えば、「貧困」がテーマになった場合には、貧困に陥っている人々への食糧支援なのか、雇用の創出なのか、貧困の根本的な解消なのか等を決める。</p> <p>(3) 模擬国連参加国（6カ国）を決定する。問題を多角的に検討するために、テーマに関してさまざまな立場の国を選ぶ。</p> <p>(4) 議長団、参加国（1カ国6名）内での生徒の役割分担等を決める。 ア 議長団の役割分担（議長、副議長、書記、タイムキーパー） イ 担当国の役割分担（資料収集、ポジションペーパー作成、自国説明、他国への質問、他国からの質問への応答、自国決議案の発表、交渉役代表、共同決議案の発表、及び質疑応答、等々</p> |
| 事 前 準 備 | <p>(1) 担当国に関して情報収集する。特に、テーマに関して、担当国が採っている立場を明確にする。※あらかじめ下調べをしておく。</p> <p>(2) 別紙具体例を参考に、ポジションペーパー（各国の現状や立場を説明する資料）を作成する。</p> |
| 第 2 時 | <p>(1) ポジションペーパーを発表し、質疑応答を行う。（各国4分+質疑応答3分）</p> <p>(2) 各国の立場を理解した上で、自国民の利益につながる、あるいは、他国を援助するための模擬国連決議案を各国が作成する。支援する際にも、支援の在り方をどうするのかを考える。（8分）</p> |
| 第 3 時 | <p>(1) 各国決議案を発表し、質疑応答を行う。（各国4分）</p> <p>(2) 自国が譲れる部分と譲れない部分を担当国内で確認し、決議案を再考する。（3分）</p> <p>(3) 決議案に基づき、考え方や利害が一致する国々（2カ国以上）が交渉を重ね、（交渉した国々が）共同決議案を作成する。（交渉5分+作成3分）</p> <p>(3) 幾つかの共同決議案を発表し、質疑応答する。（各4分）</p> <p>(4) 採決する。過半数で可決する。（2分）</p> <p>(5) まとめ（残り時間）</p> |

模擬国連実践事例「水問題」

(1) 地球規模の問題（テーマ）に関するテーマの選定

テーマの候補として、飢餓、水、森林伐採、オゾン層の破壊、地球温暖化、人口問題、臓器売買、尊厳死、テロ、エイズ、教育、資源とエネルギー、麻薬、児童労働等があがった。対立意見があり、興味をもちやすいこと等を考慮し、「水問題」をテーマとした。

(2) 論点の明確化

議論の方向性を明確にするために、テーマに関する複数の論点から、「水問題を抱える国への水の供給」という論点から議論することに決定した。

(3) 参加国の選択

多数の候補国があがったが、先進国・発展途上国の構成割合、地域間バランス、情報収集の可能性、テーマとの関連性等を考慮し、バングラデッシュ、カナダ、中国、エチオピア、フィンランド、ペルー、トルコの7カ国を選んだ。

(4) 議長団、参加国内での生徒の役割分担等の決定

議長団の役割分担（議長、副議長、書記、タイムキーパー）、担当国の役割分担（資料収集、ポジションペーパー作成、自国説明、他国への質問、他国からの質問への応答、自国決議案の発表、交渉役代表、共同決議案の発表、及び質疑応答、等々）を決めた。

(5) 世界の水問題についての概略説明

会議の始めに、議長団が、現在世界が抱える水問題について、水問題を抱えている地域、安全な水を手に入れない人の数等、概略説明を行った。

(6) 担当国の、テーマに関する情報収集とポジションペーパーの作成

各国の水問題について情報を収集し、各国の状況（人口、GDP、産業、気候、水の状況等）を調べ、ポジションペーパー（各国の現状や立場を説明する資料）にまとめた。

【バングラデッシュの例】

人口：131,000,000人 GDP：1,750ドル

水不足に苦しんでいる人口：24,000,000人

井戸の総数：4,000,000 汚染されている井戸の総数：1,120,000

（以下は国紹介の要約）バングラデッシュは、発展途上国の一つであり、人口密度が高く、世界で開発が最も遅れている国の一つである。環境面においても多数の問題を抱えており、特にヒ素に汚染された井戸が一番深刻な問題である。

国民は浅い井戸や河川から水を汲んで利用してきたが、この水が原因でコレラや赤痢が発生している。国連の助言により井戸を深くしたが、そのことが井戸のヒ素汚染を拡大した。しかし、他に飲料水が確保できない住民は汚染された井戸を利用し続けるしかなかった。飲料水として使用を確認する試験キットを導入して対策を講ずるが機能せず、結局汚染水は約2千万人に影響を与えた。

国は、水の有効利用、水資源の見直し、水の浄化を図り、貧困の解消、生産性の向上、国民の健康衛生面の改善を図ろうとしている。そのためには、汚染された井戸、河川の

浄化、国民に汚染水の危険を知らせるための教育、上下水道の整備が急務である。これらの問題を早急に解決したいが、資金がない。

(7) ポジションペーパーの発表と質疑応答、議論の優先順位の決定

ポジションペーパーを事前に提出させ、印刷した冊子を全員に配付した。各国の実情を確認すると、各国が抱える水問題が多岐にわたっていたので、話し合いにより「安全な水の供給と汚染水による病気の予防」というテーマに絞って決議案の草案を考えた。

(8) 各国の決議案草案（自国の実情を考え、国連に提出する案）の作成

水問題の具体的な解決策について話し合い、決議案草案を作成した。生徒たちは、多数のダムを建設する、水の豊富な国から乏しい国へ壮大なパイプラインを建設する、大型タンカーで水を輸送するなどの空想的な案を立て始めた。そこで、パイプラインやダムの建設にはどれくらいの費用がかかるかを調べさせ、その莫大な費用をどこの国が負担するのかといった現実的な問題も考えるように、教師から助言した。

(9) 各国決議案の発表と質疑応答

水問題に苦しむ国からは深刻な水問題の解決に向けて援助が要請された。先進国からは、条件付きで技術面や資金面の援助が提案された。それらを、議長団がまとめ、板書した。①技術援助（インフラの整備）と専門知識の提供、②水の輸送と貯水タンクの建設、③衛生面での教育、④水資源を共有する国家間の調停、⑤特別プロジェクト（ダム建設等）の実施。決議案が多岐にわたるため、質疑応答の後、投票により「技術援助と専門知識の提供」を優先案件として話し合うことにした。質疑応答では、必要とされる技術内容や水関連施設等について、また、水紛争が起きている国に対しては水輸送、水関連施設建設の前提となる紛争の解決について質問が出された。

(10) 共同決議案の作成

各国決議案の発表と質疑応答内容から、他国と連携した共同決議案を作成する。単独での決議案提出でも構わないが、採決で過半数を得られるように共同決議案としての提案を目指す。他国と協議交渉を重ねる時間をとり、「安全な水の供給」に向けて国連としての具体的な行動計画を共同決議案という形で作成する。積極的に協議交渉を図る。

(11) (共同) 決議案の発表、質疑応答

フィンランドは、カナダと共同で資金提供をして、貯水タンクの建設とフィンランドでの専門知識研修を提案したが、バングラデッシュは自国での研修実施を要望した。これに対し、フィンランドは、関連施設が整っている場での研修の方が有効であると回答した。また、バングラデッシュは、上下水道の整備、河川や湖等からのパイプラインの敷設を要望し、バングラデッシュが本当に求めているのは貯水タンクの建設ではないと反論した。決議案に対して、多数の質疑応答がなされ、結局、バングラデッシュの水関連施設の建設とフィンランドでの研修実施という修正案が最終案としてまとまった。

(12) 決議案の可決

6カ国の賛成を得て、修正案が可決した。

模擬国連ワークシート

ポジションペーパー（例）

※ 発表時間は4分です。要点を押さえた発表資料を作成してください。

※ 一部のデータには、日本との比較を加えると、読み手が理解しやすいです。

1 代表団員氏名（生徒〇名）：

| | |
|----------|----------|
| 生徒名_____ | 生徒名_____ |
| 生徒名_____ | 生徒名_____ |
| 生徒名_____ | 生徒名_____ |

2 担当国名：（例）中国

3 人口（複数民族で国が構成されている場合の民族）：（例）12億8400万人

4 宗教（必要な場合）：

5 経済状態 GDP、あるいはGNP：（例）911ドル（日本32605ドル）

※円換算すると分かり易い。

6 面積：（例）9,596,960平方km（日本の約26倍）

7 気候：（例）「水」がテーマならば、年間降水量等をあげる。大国の場合には、地域で区切る必要がある。

8 テーマに関わる情報：（例）「水」がテーマならば、水資源として河川、湖名等をあげ、貯水量をあげる。

9 自国の現状：（以下は文章の形式で）

（1）テーマに関わる分野での自国の詳細な状況：

（2）国、政府の方針：

（3）一般市民の現状：

(4) 問題の主要因、あるいは複雑な要因 :

(5) 問題が生じる理由 :

(6) 解決の糸口 :

(7) 自国が援助してほしいこと (自国でできること、できないこと) :

(8) 自国が援助できること (自国でできること、できないこと) :

自国作成決議案

(この決議案は、自国の紹介ではなく、自国から国連への提案になります。さまざまな国々の利害が絡み合い、自国作成の決議案がそのまま採決されることはまれです。多くの国々に賛同が得られる決議案を考えてください。)

1 対象と実施する時期

第2学年～第3学年

2 指導計画例

| | 学習活動 | 指導上の留意点 | 参考 |
|-----|---|---|--|
| 第1時 | <ol style="list-style-type: none"> 1 模擬国連の説明を聞く。 2 取り上げたいテーマを発表する。 3 テーマ・参加国を決定する。 4 グループに分かれる。 5 担当国を決める。 6 生徒の役割分担を決める。 | <ul style="list-style-type: none"> ○資料を使い、流れを理解させる。 ○話し合いたい地球規模の問題をあらかじめ調べさせる。 ○テーマを絞り、論点を明確にさせる。発展途上国、先進国、中立国を含めさせる（6カ国程度）。 ○1カ国生徒6名、議長団4名とする。 | <p>〈ねらいの説明〉</p> <p>資料「模擬国連の流れ」参照 実践事例参照 新聞、オンライン情報</p> |
| 準備 | <ol style="list-style-type: none"> 1 下調べをする。 2 ポジションペーパーを作成する。 3 決議案草案項目を作成する。 4 資料を印刷し、事前に配付する。 | <ul style="list-style-type: none"> ○担当国の現状について調べ、発表資料を作成させる。自国の立場、堅持すべき部分を確認させる。 ○自国の実情等を確認して国連に求める決議案草案を作成させる。 ○各国資料を冊子にする。 | <p>ポジションペーパー ネット検索 決議案草案 資料冊子作成</p> |
| 第2時 | <ol style="list-style-type: none"> 1 各国の現状説明と質疑応答をする（各国4分説明+3分質疑応答）。 2 各国で決議案を作成する（8分）。 | <ul style="list-style-type: none"> ○本時の時間配分を板書しておく。 ○タイムキーパーに時間管理をさせる。 ○移動時間を節約するため、馬蹄形に机を並べ、その場で説明させる。 ○できるだけ現実的な案を考え、作成させる。 | <p>タイマー、ベル、ポジションペーパー 資料冊子</p> |
| 第3時 | <ol style="list-style-type: none"> 1 各国が決議案を発表し、質疑応答を行う（各国4分）。 2 各国が決議案を再考する（3分）。※担当国で集合する。 3 他国との協議交渉を行う（5分）。 4 共同決議案を作成する（3分）。 5 共同決議案を発表し、質疑応答を行う（各4分）。 6 採決をする（2分）。 | <ul style="list-style-type: none"> ○自国の実情等に基づき、国連に求める決議案を発表させる。 ○各国が他国の決議案を検討して考え方が一致しそうな国々と交渉させる。※座席は移動してもよい。 ○担当国の実情を踏まえ、堅持すべき部分を確認した上で最初の決議案に修正を加え、他国との共同決議案を作成させる。 ○複数の共同決議案が出された場合、議長がその相違点等を説明し、審議の円滑化を図る。 ○過半数があれば可決する。 | <p>タイマー、ベル、決議案の配付 コンピュータ 液晶プロジェクタ スクリーン</p> <p>〈まとめ〉</p> |

3 留意事項

- (1) 意見が対立する場合、自国の主張を繰り返すだけでは合意に達しない。各国が妥協できる部分とできない部分をあらかじめ確認しておく。一国の代表として、また、地球市民の立場から、テーマに対しての無責任な発言や非現実的な発言は厳に慎むようにあらかじめ注意しておく。
- (2) 参考資料「模擬国連の流れ（時間配分、活動内容）」を使って活動の概略を伝える。
- (3) ポジションペーパーとは、各国の現状、テーマに対する立場等を説明する資料である。

〈ねらいの説明例〉

今、私たちが生きているこの地球上には、さまざまな問題があります。地球規模で解決していかなければならない課題も多くあります。地球温暖化、オゾン層の破壊、森林伐採、人口増加、飢餓、等々。

そこで、今回は、これらの問題から一つを取り上げ、国連の方式に則って、問題解決に取り組んでみましょう。より良い解決に至るよう、全員で知恵を出し合い、話し合いを進めましょう。

ところで、皆さんは国連についてどれほど知識があるでしょうか。国連は平和と安全を維持し、国家間の友好関係を発展させ、社会の進歩、生活水準と人権意識の向上を図るために創設された、192の主権国家からなる国際機関です。

今回は皆さんに、国連の議決方式を模擬体験してもらい、問題解決の方策を考えてもらいます。では最初に模擬国連の流れを説明します。

〈まとめの例〉

「愛の反対は無関心である」というマザー・テレサのことばを知っていますか。私たちは、周囲の人々や世界にどれだけ関心を持ち、愛情をもてるでしょうか。今回、皆さんは模擬国連でグローバルな問題を話し合い、一つの合意に達しました。この過程で、皆さんはこれまで知らなかった各国の実情を知り、各国の立場から、そしてそれらを統合したグローバルな視点から問題を見つめ、現実的な解決に向けて議論を進めてきました。皆さんが無関心であれば失われていたであろう多くの命や地球上の資源が、こうして救われました。

今後も、世の中の出来事に関心を抱き、宇宙船地球号の一員として共生の精神をもち続けて行動してください。

【参考資料】

国連難民高等弁務官事務所「資料コーナー」<http://www.unhcr.or.jp/html/info.html>

国連児童基金「緊急支援情報」http://www.unicef.or.jp/children/child_eme.html